

春の交通安全運動期間に福岡県庁でドライブレコーダー普及

～福岡県庁ロビーでドライブレコーダー設置等の交通安全啓発活動を実施～

日本損害保険協会 九州支部委員会(委員長：萩原 智明・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 執行役員 九州・沖縄地域担当)では、令和6年・春の交通安全運動の期間(4月6日(土)～4月15日(月))に、福岡県庁1階ロビーで福岡県とともにブースを出展し、県庁来庁者等にドライブレコーダーの普及と交通安全を呼びかけました。

当支部では、これまでも飲酒運転の撲滅をはじめとした交通事故防止に協力してまいりました。「令和6年春の交通安全運動」では、全国重点の主な推進項目に掲げられた妨害運転の防止に欠くことのできない「ドライブレコーダーの普及促進等に関する広報啓発の推進」を、損保業界としても実施すべく、保険会社で実際に扱っているドライブレコーダーの機能や必要性を福岡県庁1階ロビーにて紹介し、来庁者や県庁職員がドラレコ設置を考える機会となるよう啓発活動を実施しました。

期間中は、損害保険会社の社員や損保協会職員がチラシ配布等を行い、興味を持たれた来庁者等には、ドライブレコーダーを設置することにより、「あおり運転」や「飲酒運転」から自分自身やご家族を守る効果や、実際に事故にあった際に録画した動画が保険会社に連携されることにより、迅速な紛争解決が図れることを、動画等も放映しながら、説明しました。

来庁者からは「ドライブレコーダーを設置してから自分の運転の特徴を見直す機会となり、安全運転をより心がけるようになった。」との経験談や、「ドライブレコーダーの機能がよくわかった。」等の感想の声をいただきました。

当支部では、引き続き、県や関係団体等との協力・連携を深めながら、福岡県の交通安全活動に寄与できるよう取り組んで参ります。



ブースの全体像



説明の様子